

社会福祉法人島田市社会福祉協議会事業報告
(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

3月11日に東日本を襲った未曾有の大震災により、日本災害史上類を見ない、行方不明者も含め2万5千人を上回る尊い生命が一瞬にして津波の犠牲となりました。さらに、福島第1原子力発電所の大事故も加わり、日本の経済、社会、国民生活は混乱の極みに達し、今後、被災地の復旧・復興には数十兆円もの膨大な資金と時間が必要とされるなど、震災地は言うに及ばず、日本中が厳しい試練に晒されています。

日本全国そして諸外国からの支援に呼応し、島田市社会福祉協議会も震災直後から、義援金をはじめ応援メッセージや緊急支援物資の送付、そして職員の被災地への派遣などの支援に努めてきましたが、今後、さらに支援の輪を広げ、息の長い応援態勢を心がけてまいります。

このような中ではありますが、民間における地域福祉の推進主体である社会福祉協議会では、市民、自治会長連合会、民生委員児童委員協議会や福祉団体などの多くの皆様のご理解とご協力により、「地域の福祉力」を引き上げるための各種事業に取り組み、平成22年度事業を終了することが出来ました。

まず、事業の貴重な原資となる社協会費については、厳しい経済状況の中にも拘わらず、総額において前年度を上回る実績を上げ、加入率も75.7%と前年度を0.3%上回ることができました。

最重点目標の小地域福祉活動推進については、平成23年度から27年度までの5カ年計画である「地域福祉活動計画」を行政と協働して策定いたしました。策定に際しては、市民委員からなる策定委員会を組織するとともに、住民福祉意識調査や中学校区単位での地域福祉懇談会などを実施し、市民ニーズの把握に努めました。

小地域福祉活動の組織化については、新たに市内4ヶ所目となる岸町地区社協が4月に設立されました。この他、川根小学校区、六合東小学校区、伊太小学区などにおいても設立に向けた動きがありますので、今後、新計画の基本理念である「きづきあい みとめあい 共に生きるまち 島田」の実現に向けて、共助による地域の絆づくりを積極的に支援してまいります。

相談援助事業については、リーマンショックの影響を受け、前年度急増した相談も落ち着きを見せてきましたが、依然として厳しい経済状況が続く中、生計に関わる多くの相談が寄せられました。これらに対応するため、県社会福祉協議会の補助を受け、新たに貸付専門相談員を配置し、相談者への効果的な支援に努めました。

貸付相談の傾向としては、要件が緩和され保証人の要らなくなった県社会福祉協議会の生活福祉資金等へのシフトが進み、相対的に島田市社会福祉協議会独自の制度である小口資金や生活援護費の貸付は前年度よりも減少しました。一方、結婚相談事業については、成立件数の低下や民間相談機関の充実等により、本年度をもって廃止いたしました。

生活困難世帯への支援事業としては、歳末だけでなく年間を通じて電気・ガス・水道等のライフライン停止者への復旧支援や、従来の卒業支援のみでなく、授業料滞納のため進級ができない学生を対象とした貸付制度を新規に実施するとともに、生活困窮者への食料品贈呈など支援の充実を図りました。

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などに対しては、日常生活自立支援事業の基幹社協として、判断力が十分でない方の権利を擁護するため、専門員や支援員が福祉サービスの利用等に

についての相談に応じるとともに、自立した日常生活を営むために必要なサービスの選択、契約の支援、料金の支払い、日常の金銭管理などの援助を行い、利用者増を図ることができました。

福祉教育推進事業では、本年度をもって、市内すべての小・中学校が県の福祉教育実践校に指定され、福祉教育の普及・定着が進みました。また、中学生対象福祉施設体験事業には100人に上る中学生が参加し、福祉への理解と関心を高める一助となりました。これらの福祉教育活動の成果については、2月の島田市社会福祉大会において、全小中学校の福祉教育の取り組みを展示し、広く市民に紹介することができました。

児童福祉事業では、入学・卒業年次支援金やチャイルドシートの貸出事業、危険な遊具の修繕・撤去費用の補助など、従来の支援に加え、新たに、孤立しがちな祖父母世代の孫育てを支援するため、「孫育ておおりきしゃぼっぼ」をボランティア団体と毎月、共催で開設しました。

ボランティア活動については、ボランティア活動保険や活動費の助成支援をはじめ、福祉レクリエーション講座や傾聴ボランティア講座、災害ボランティア講座等を開催し、ボランティアの養成支援に努めました。また、小山町での水害を参考に、本番を想定した災害ボランティアセンター立上訓練を実施するとともに、新たにエコキャップを加えた収集ボランティア活動の積極的な展開を図りました。

介護保険制度に基づく介護サービス事業については、より質の高いサービスが提供できるよう各部門におけるケース検討会を定例化するとともに、利用者増を図るため、新たに土・日・祝日及び年末年始における訪問系サービス提供に努めました。さらに、経営基盤の強化を図るため、徹底したコスト削減及び効率的な人事配置に取り組み、決算において、前年度に引き続き健全な業績を上げることができました。

また、地域包括支援センター事業については、川根中学校区と本年度新たに受託した金谷中学校区の市内2か所において、地域の高齢者の心身の健康維持、生活の安定のために必要な支援を行うため、生活相談、介護予防プラン作成、特定高齢者健康指導などに取り組みました。

社協を支える職員については、個々の資質の向上を目指し、経理事務や契約事務をはじめファイリングシステムや地域福祉活動計画などについての職場内研修を定例化するとともに、県社協の実施する各種専門研修や島田市の法令実務研修等の外部研修にも積極的に参加するよう努めました。さらに、懸案であった、島田市との職員交流研修を実現し、併せて、仕事の遂行上必要となるケアマネや介護福祉士などの資格取得を計画的に進めることができました。

一方、職場環境委員会の職場環境の改善に向けた取組みをはじめ、交通安全委員会や衛生委員会においても積極的な活動が展開され、明るく働きやすい職場環境整備や接遇の向上、交通安全意識や職員の健康管理意識の高揚を図ることができました。

以下、平成22年度の具体的事業についてご報告いたします。

1. 法人運営事業

(1) 理事会の開催

開催日	審議事項
平成22年 5月27日	認定第1号 平成21年度事業報告 認定第2号 平成21年度一般会計及び特別会計資金収支決算 議案第1号 評議員の委嘱
平成22年12月20日	議案第2号 定款の変更 議案第3号 評議員の委嘱 議案第4号 平成22年度一般会計資金収支補正予算(第1号) 報告第2号 再雇用規程の改正 報告第3号 就業規程の改正 報告第4号 職員給与規程の改正 報告第5号 処務規程の改正 報告第6号 専決代決規程の開催 報告第7号 契約職員の雇用に関する終業規程の改正
平成23年 3月25日	議案第5号 評議員の委嘱 議案第6号 平成23年度事業計画 議案第7号 平成23年度一般会計及び特別会計資金収支予算

(2) 評議員会の開催

開催日	審議事項
平成22年 5月27日	議案第1号 平成21年度事業報告 議案第2号 平成21年度一般会計及び特別会計資金収支決算 議案第3号 理事の選任
平成22年12月20日	議案第4号 定款の変更 議案第5号 理事の選任 議案第6号 平成22年度一般会計資金収支補正予算(第1号) 報告第1号 再雇用規程の制定 報告第2号 就業規程の改正 報告第3号 職員給与規程の改正 報告第4号 処務規程の改正 報告第5号 専決代決規程の改正 報告第6号 契約職員の雇用に関する就業規程の改正
平成23年 3月25日	議案第7号 平成23年度事業計画 議案第8号 平成23年度一般会計及び特別会計資金収支予算

(3) 監査会

開催日	審議事項
平成22年 5月21日	平成21年度事業報告書の審査 平成21年度資金収支計算書の審査 平成21年度貸借対照表の審査 平成21年度財産目録の審査

(4) 会費

会費種類	会費金額	平成22年度		前年度比 加入数	平成21年度	
		加入数	金額		加入数	金額
一般会費	1世帯 300円	26,713世帯	8,015,435円	37,060円 234世帯	26,479世帯	7,978,375円
賛助会費	個人1口1,000円	1,224人	1,517,200円	▲44,300円 ▲49人	1,273人	1,561,500円
施設会費	施設1口5,000円	33施設	165,000円	▲10,000円 ▲2施設	35施設	175,000円
団体会費	団体1口2,000円	98団体	220,000円	36,000円 11団体	87団体	184,000円
特別会費	企業1口3,000円	226社	1,022,000円	15,000円 ▲5社	231社	1,007,000円
合計			10,939,635円			10,905,875円

□一般会費加入率 75.7% (世帯数 35,268 世帯)

(5) 一般寄附金

寄附者	件数	金額
個人	37件	1,303,461円
団体	23件	627,338円
企業等	18件	425,280円
役職員	2件	33,000円
計	80件	2,389,079円

(6) 東日本大震災対応

3月11日に発生した「東日本大震災」被災者支援のため、社協職員派遣体制を整備するとともに、救援物資の送付、災害ボランティア受付情報の把握、義援金の呼びかけなど島田市社協としてできるだけの支援を行ってきました。

- ① ホームページでのボランティア情報等の提供
- ② 掲示場によるボランティア情報コーナーの設置
- ③ 被災者への「応援メッセージ」書き込みコーナーの設置
- ④ 職員による義援金の協力 109人 359,000円 (H23.3.31現在)
- ⑤ 救援物資の協力 (社協職員会から粉ミルク、紙おむつ、食糧品等を被災地へ送付)
- ⑥ 義援金の受付 1,656,477円 (H23.3.31現在)
- ⑦ ボランティア保険加入の受付

(7) 職員研修の充実と資格取得の奨励

職員個々の資質向上のため、外部研修への積極的な参加及び内部研修の定例化を図るとともに、初めての試みとして島田市との職員派遣交流研修を実施しました。また業務上必要となる介護支援専門員や介護福祉士資格などの取得を奨励するとともに介護事業におけるケース検討会と業務改善会議を開催しコストダウンとサービスアップに努めました。

① 外部研修

No.	研修内容	参加者	No.	研修内容	参加者
1	在宅褥瘡医療セミナー	1	6	介護基礎技術研修会	1
2	社協職員新任研修	1	7	権利擁護セミナー	2
3	経理研修会	4	8	コミュニティワーク研修会	2
4	関東ブロック職員研修会	4	9	ヘルパーストレス解消研修会	1
5	成年後見人制度講座	3	10	その他16講座	25

② 内部研修 (OJT)

ア 事務局職員研修会

□開催 年間10回

□内容 正しい経理処理と伝票処理、物品購入事務手順、日常生活自立支援事業と成年後見制度など

イ 介護事業課研修会

《ケース検討会》

□開催 毎月1回

□内容 利用者へのサービス提供に関する検討会

《業務改善会議》

□開催 毎月1回

□内容 各事業における訪問予定表、勤務日誌などの改善など

③ 人事交流 1名 (島田市へ派遣)

④ 資格取得

No.	資格	人数	No.	資格	人数
1	介護支援専門員	1	4	社会福祉主事	2
2	主任介護支援専門員	2	5	災害ボランティアコーディネーター	2
3	介護福祉士	1	6	第一種衛生管理者	1

(8) 内部委員会の開催

職場内の環境改善と風通しの良い、明るく、働きやすい職場づくり、職員の健康管理及び交通安全の推進のため内部委員会を開催しました。

① 職場環境委員会

No.	期 日	実施内容
1	平成22年4月22日	職場改善実施項目の検討
2	平成22年7月29日	第1回職場環境改善チェック結果 他部署評価
3	平成22年9月28日	他部署評価結果 項目達成度チェック
4	平成22年11月16日	第2回職場環境改善チェック結果 取り組み発表会の実施方法検討会
5	平成22年12月15日	職員全員研修会 (職場環境改善取り組み発表会)
6	平成23年2月22日	第3回職場環境改善チェック結果 振り返りと次年度計画

② 衛生委員会

No.	期 日	実施内容
1	平成 22 年 5 月 18 日	実施計画 職員健康診断について
2	平成 22 年 6 月 22 日	職員全体研修（メンタルヘルス研修会）
3	平成 22 年 12 月 9 日	職員健康診断実施結果について 感染症（ノロウイルス）について 喫煙に関するアンケートの実施
4	平成 23 年 3 月 28 日	喫煙に関するアンケート結果報告 振り返りと次年度計画

③ 交通安全委員会

No.	期 日	実施内容
1	平成 22 年 5 月 12 日	安全運転及び交通事故防止について 交通事故報告 交通安全活動の取り組みについて
2	平成 22 年 7 月 15 日	安全運転講習会
3	平成 22 年 8 月 11 日	全国交通安全県民運動への参加 セーフティチャレンジラリーへの参加
4	平成 22 年 11 月 10 日 12 月 8 日	職員交通安全講習会
5	平成 23 年 3 月 16 日	安全運転及び交通事故防止（安全運転管理者から） 運転記録証明書の取得

2. 企画事業

(1) 広報紙「みんなのふくしだより」発行事業

社会福祉協議会の事業の紹介や福祉情報を市民に伝えるため、自治会の協力を得て市内各戸に配布し福祉意識の啓発を行いました。

- 発行回数 7回（4月、6月、8月、9月、10月、12月、2月）
- 発行部数 1回につき33,200部
- 配布先 市内各世帯
- 作成方法 紙面の充実を図るため、各事業の担当職員が工夫して作成し、社協内で校正を行うとともに、地域福祉サポーターから評価・意見をいただきよりよい紙面作成につとめました。
- 紙面内容 社協の事業計画・予算、事業報告・決算、各種事業や講座の紹介・参加者募集・報告、会費の協力依頼、ボランティア紹介など

(2) ホームページ作成事業

社会福祉協議会の広報啓発活動の一環として、インターネット上でホームページを公開しています。社協の情報をより早く、正確に多くの人々に伝えることができるよう適時的確な記事更新を行うとともにホームページ検討会を開催し、内容の充実に努めました。

- 公開日 平成22年4月1日～平成23年3月31日
- 内容 社協について（社協概要、組織、所在地、連絡先、地図）
社協の活動（事業計画・予算、事業報告・決算、カレンダー、広報紙）
各種事業（相談、高齢者、子ども・子育て、障害者、福祉教育、共同募金、ボランティア、会費・寄附金募集）
その他（東北地方太平洋沖地震情報、各種申請様式、関係機関へのリンク）
- アクセス数 5,657件（平成17年5月5日からの通算32,773件）

(3) 社会福祉大会事業

福祉関係者や多くの市民の参加を得て、社会福祉事業功労者の功績に感謝の意を表す為、島田市社会福祉協議会会長表彰を行うとともに、福祉活動発表・展示を通じて福祉意識の高揚を図りました。

- 開催日時 平成23年2月5日（土）13時30分～16時
- 開催場所 島田市民総合施設プラザおおるり「ホール」「展示ホール」
- 参加者 598名
- 福祉功労者表彰「島田市社会福祉協議会会長表彰」 21名・6団体
 - ①保護司2名 ②社会福祉法人・施設の役員及び従事者10名 ③社会福祉事業団体の役員3名 ④社会福祉事業協力者4名・3団体 ⑤感謝状2名・3団体
- ボランティア活動団体紹介
 - ①島田市要約筆記サークル「うさぎ」②しまだ次世代育成支援ネットワーク
 - ③運転ボランティア ④リサイクル収集活動
- 資機材助成目録贈呈（11団体）
- 福祉活動発表
 - ①道悦島地区社会福祉協議会
 - ②静岡大学教育学部附属島田中学校
- 福祉活動展示
 - ①市内小中学校の福祉教育の取り組み
 - ②社会福祉協議会事業の紹介

③共同募金運動事業の紹介

(4) 無縁仏供養祭の開催（市補助事業）

不幸にして、親類縁者なく市内で亡くなられ、無縁仏として埋葬された23名の方々の供養祭を島田市仏教会の協力のもと開催しました。

- 開催日時 平成22年10月13日（水）11時～11時30分
- 会場 島田市斎場内 無縁仏供養塔前
- 参列 社会福祉協議会役員等 18名
- 協力 島田市仏教会 僧侶11名

(5) 小地域福祉活動団体補助金

小地域福祉活動の組織化に向けた各種取り組みをしている団体、小地域福祉活動の推進を目的に組織された団体に対して、準備段階での育成補助や立ち上げ後の運営補助を行い、小地域福祉活動の推進を図りました。

①育成補助

- 補助額 200,000円以内（10万円までは全額補助、10万円以上は一割自己負担）

No.	団体名	補助額
1	ほのぼの会食会実行委員会（金谷地区）	128,000円

②運営補助

補助額：基本額30,000円＋加算（150円×世帯数×前年度会費納入率）

＋地域高齢者ふれあいサロン＋子育てサロン

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	道悦島地区社会福祉協議会	249,000円	3	第三小学校区地区社会福祉協議会	484,000円
2	岸町社会福祉協議会	166,000円	4	御仮屋町社会福祉協議会	160,000円
合計4団体			1,059,000円		

(6) 地域ふれあい活動等運営補助

①地域高齢者ふれあいサロン

高齢者を対象とした生きがいつくりや寝たきり・認知症を予防するための健康づくりを目的とした「地域ふれあい事業」に対して運営に要する経費の補助を行いました。

- 補助額：基本額 40,000円

（実施回数により加算あり：年20回以上10,000円 ・年36回以上20,000円）

- 補助条件：原則として事業費総額の1割以上の自己資金を確保すること

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	旭町健康サロン	60,000円	18	宮川町なかよし会	30,000円
2	はつくら健康クラブ	40,000円	19	井口ふれあいクラブ	40,000円
3	みつあい健康クラブ	40,000円	20	しろやまサロン（湯日地区）	40,000円
4	第2学区ふれあい健康体操の会	40,000円	21	お達者クラブ（JA 大井川たんぼの会）	40,000円

5	東町ふれあいタイム	40,000円	22	谷口ふれあいひまわり会	40,000円
6	向谷元町ふれあいクラブ	50,000円	23	赤松・柳島なかよし会	40,000円
7	七丁目ふれあいの会	40,000円	24	中溝町健康クラブ	40,000円
8	けやき元島田	40,000円	25	エミデルサロン（金谷東町）	50,000円
9	下湯日悠遊クラブ	40,000円	26	陽だまり広場（金谷切山・猪土居）	40,000円
10	たちばなクラブ（本通一丁目）	50,000円	27	南原いきがいクラブ	40,000円
11	神座・鵜網さわやかクラブ	40,000円	28	いきいきすみよし（幸町・本通三丁目）	40,000円
12	伊太・相賀ふれあいクラブ	40,000円	29	笹間ボランティアグループ ひまわり	20,000円
13	ふれあいのぎくの里（扇町）	40,000円	30	おしゃべり会（島）	40,000円
14	さわやかいなり	40,000円	31	中河ほのぼの会（初倉）	40,000円
15	輦台みのりの会（河原町）	40,000円	32	であいサロン（大代）	50,000円
16	一本松クラブ（若松町）	40,000円	33	北部ボランティアグループ たんぽぽ	20,000円
17	むくよんいきいきサロン	50,000円			
合計 33 団体				1,340,000円	

②地域子育てサロン

0～3歳児の親子を対象とした「子育てサロン事業」に対して運営費の補助を行いました。

□補助額：基本額 30,000円

（実施回数により加算：年20回以上10,000円 ・ 年36回以上20,000円）

□補助条件：原則として事業費総額の1割以上の自己資金を確保すること

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	元島田きしゃぼっぽ	30,000円	3	番生寺きしゃぼっぽ	30,000円
2	大柳きしゃぼっぽ	30,000円	4	たんぽぽ（元島田）	30,000円
合計			4 団体		120,000円

③地区福祉の会

地区及び町内会単位で地域福祉活動を主に組織された団体に対する運営費の補助を行いました。

□補助額：基本額 30,000円 + 加算（世帯規模別単価×世帯率）

（世帯規模別単価 1,000世帯以上…5,000円 1,500世帯以上…10,000円

2,000世帯以上…20,000円）

□補助条件：原則として事業費総額の1割以上の自己資金を確保すること

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	大長地区地域福祉の会	50,000円	4	第四地区社会福祉の会	305,372円
2	第一地区福祉の会	188,000円	5	六合地区社会福祉の会	324,000円
3	第二地区福祉の会	196,000円	6	初倉地域ふれあい	212,000円
合計			6 団体		1,275,372円

(7) ボランティア活動推進補助金

ボランティア活動を行うために組織された団体で継続的に活動を行っている団体に対する運営費の補助を行いました。

□補助額 基本額 30,000円

新設団体 50,000円 (会の設立から2年以内の団体)

□補助条件 原則として事業費総額の1割以上の自己資金を確保すること

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	しまだおもちゃ図書館でんでん虫	30,000円	11	点訳サークル金谷ブレイル	30,000円
2	まいせるふ	30,000円	12	こころの会	30,000円
3	島田市老人用おむつ縫製グループ	30,000円	13	ボランティアふれ愛	30,000円
4	島田点訳奉仕会	30,000円	14	スマイルの会	30,000円
5	手話サークルもくせい	30,000円	15	こどもの居場所ぽっかぽかサロン	30,000円
6	明るい社会づくり運動島田地区協議会	30,000円	16	しまだ次世代育成支援ネットワーク	30,000円
7	声のボランティアともしび島田	20,000円	17	青空の会	12,000円
8	手話サークル虹の会	30,000円	18	コスモスの会	30,000円
9	ふなっこクラブ	30,000円	19	ぴよんたの会	15,000円
10	そよかぜ青年学級	30,000円			
合計		19団体			527,000円

(8) 福祉団体等補助金

①県社会福祉協議会の会員となっている社会福祉事業団体に対して運営費に必要な経費の補助を行いました。

□補助額：運営費補助として必要と認める金額

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	島田市民生委員児童委員協議会	320,000円	4	島田市老人クラブ連合会	250,000円
2	島田市手をつなぐ育成会	170,000円	5	島田市子ども会世話人連合会	60,000円
3	島田市身体障害者福祉会	220,000円	6	精神保健福祉「島田親愛会」	100,000円
合計			6団体		1,120,000円

②上記補助対象団体以外で、補助する必要があると判断した団体に対して運営費の補助を行いました。

□補助額：運営費補助として必要と認める金額

No.	団体名	補助額	No.	団体名	補助額
1	島田市遺族会	600,000円	5	あすなる会	30,000円
2	金谷遺族会	500,000円	6	島田市静霊奉賛会	600,000円

3	川根町遺族会	200,000 円	7	島田断酒会	50,000 円
4	発達障害の理解を深める会「ル・シェル」	30,000 円			
合計				7 団体	2,010,000 円

(9) 地域福祉サポーター事業

地域福祉活動の推進役となる人材を育成するため、市民にサポーターとして登録・参加していただき社協主催事業や小地域福祉活動推進に関わる行事（地区勉強会等）への運営補助及び事業評価等をお願いしました。

□活動内容

- ①社協主催事業（ふれあい広場、社会福祉大会、ボランティア講座、地区まつり、収集活動等）への運営補助及び事業評価
- ②地区社協主催事業（地域福祉講座、ボランティア講座等）への運営補助及び事業評価

□登録人数 13名

(10) ホームヘルパー養成研修（2級課程）

地域の介護力を上げるとともに、現在の社会情勢によって離職された方々への就労支援のため養成講座を開催し受講生24名すべてが2級課程を修了することができました。

- 実施期間 平成22年9月27日（月）～平成23年1月20日（木）
- 場所 プラザおおり／シルバー人材センター会議室（演習）
- 受講者 24名
- 研修時間数 131時間（講義59時間・演習42時間・実習30時間）
- 講義・演習担当講師 行政職員・社協職員・天竜厚生会職員・静岡県介護福祉士会等
- 実習先

- ①在宅サービス提供現場の見学 デイケアセンター／ デイサービスセンター
- ②介護実習 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設
- ③訪問介護サービス同行訪問 島田市社会福祉協議会 指定訪問介護事業所

(11) 収集ボランティア活動

小・中学校や市民等に対してボランティア活動や地域貢献活動のひとつのきっかけになるように「使用済み切手」「書き損じ葉書」「使用済みテレホンカード等」「ペットボトルのキャップ」、「不要な入歯」の収集を呼び掛け、収集活動の推進を図りました。

また、社会福祉大会において、活動の成果を発表するとともに、更なる収集活動の要請を行いました。

収集種別	回収実績	換金実績	備考
使用済み切手	38,280g	9,560 円	収集整理ボランティア活動 延べ63人参加 月1回開催 回収された切手を切り揃え、日本と外国切手に分類
書き損じ葉書	872 枚	112,528 円分	切手、葉書に交換
使用済みテレホンカード	8,466 枚		県ボランティア協会に送付
ペットボトルのキャップ	330,400 個		ワクチン 413 人分に相当 (800 個でポリオワクチン 1 人分)
不要な入歯	153 個	90,781 円	

3. 地域福祉事業

(1) ふれあい広場

障害のある人もない人も、また子どもからお年寄りまで、お互いに集う機会を設け、ふれあいの輪を広げるとともに社協でも専用ブースを設置し、PR強化に努めました。

- 実施日 平成22年9月26日(日)
- 会場 島田市役所駐車場
- 参加団体 25団体(ボランティア団体、福祉団体、福祉施設等)
- 参加者 1,000人
- 内容 福祉バザー、模擬店、点字や手話等の福祉体験コーナー、作品展示・販売、ステージ発表等。

(2) 地区まつり

市内各地区で行われる行事に社協として参加し、社協のPR、共同募金のよびかけ等を行いました。

①初倉まつり

- 実施日 平成22年10月24日(日) 会場 JA大井川初倉支店倉庫

②金谷文化産業祭

- 実施日 平成22年11月3日(水) 会場 夢づくり公園

③北部ふれあいセンターまつり

- 実施日 平成22年11月7日(日) 会場 北部ふれあいセンター

④いくみまつり

- 実施日 平成22年11月7日(日) 会場 やまゆり

⑤大津ふれあいまつり

- 実施日 平成22年11月7日(日) 会場 大津農村環境改善センター

⑥川根ふる里ふれあいまつり

- 実施日 平成22年11月14日(日) 会場 川根小学校

(3) 地域福祉活動計画策定

平成23年度から平成27年度までの5年間の地域福祉推進の指針として「きづきあい、みとめあい、共に生きるまち島田」を基本理念とする地域福祉活動計画を策定しました。策定にあたっては、島田市(福祉課)の地域福祉計画と一体化することで、より効果的で実態に即した計画とすることができました。

①策定委員会の開催

- 委員 自治会、民生委員児童委員や福祉団体、福祉施設等から選出された15名
委員長 青山登志夫氏(静岡英和学院大学人間社会学部地域福祉学科教授)

委員会

- 第1回:平成22年 2月12日 委員の委嘱。市民福祉意識調査の実施について
- 第2回:平成22年 5月13日 市民福祉意識調査の結果分析
- 第3回:平成22年 7月30日 地区福祉懇談会の報告と考察
- 第4回:平成22年11月12日 計画の体系、基本理念の検討
- 第5回:平成23年 2月28日 計画全体の検討

②策定にあたっての調査活動

活動計画を策定するにあたり、市民を対象に市民福祉意識調査や地区福祉懇談会を実施して、市民の地域福祉に関する意見・要望を伺いました。また、現在活動する福祉団体やボランティア団体とも懇談会を実施し、活動の現状や社協への要望把握に努めました。

ア. 市民福祉意識調査の実施

調査期間 平成22年3月

調査対象 高校生から高齢者まで1,000人 回答869人(男440人/女429人)

イ. 地区福祉懇談会の実施

実施期間 平成22年6月

実施回数 中学校区を単位に7回

参加者 自治会、民生委員児童委員、保健委員、PTA、老人クラブ、中学生等、
合計361人

ウ. 福祉団体・ボランティア団体等懇談会の実施

実施日時 平成22年8月31日/12月16日

参加者 福祉団体、ボランティア団体、地区社協、福祉教育協力者等

(4) 川根地区小地域福祉活動推進講演会

川根地区小地域福祉活動(地区社協づくり)の足場作りを進めるための講演会を開催しました。

実施日 平成23年2月25日(金)

会場 島田市川根文化センター 2階視聴覚室

参加者 自治会、民生委員・児童委員、各福祉団体、地区住民 52人

テーマ 小地域福祉活動の必要性

講師 地域福祉研究所 主宰 山本伸晴氏

後援 特定非営利活動法人NPO まちづくり川根の会

(5) マイクロバス貸し出し

福祉団体、福祉施設、ボランティアグループに加え、地域で活動されている地域サロンや小地域

福祉団体の福祉活動のために、マイクロバスを貸し出しました。

実績

島田マイクロバス(29人乗り): 72回

川根マイクロバス(23人乗り): 27回 《合計: 99回》

内訳

利用団体区分		回数	利用団体区分		回数
1	福祉団体・施設	30	4	ボランティア団体	17
2	ふれあいサロン団体	18	5	町内会	6
3	小地域福祉団体	12	6	その他	16
合 計					99

4. 福祉教育事業

(1) 福祉教育実践校事業（県、市）

小・中・高等学校の児童・生徒が社会福祉への理解と関心を高めるために、実践校指定を行ってきましたが、今回で市内すべての小中学校が県指定され、今後については市指定による助成を継続することとなりました。

① 社協指定 附属中、金谷高（2校）

② 市社協指定 神座小、第四小、六合東小、伊太小、川根小、第一小、第五小、初倉南小、金谷小（9校）

(2) 中学生対象施設体験学習

夏休み期間に、市内福祉施設での体験の機会を設け、入所者や利用者との交流を通して福祉やボランティアを学ぶ機会を提供しました。

実施日 平成22年8月2日～8月20日（この期間で3日間以上）

依頼施設 市内福祉施設23ヶ所

参加者 市内在住、通学者100名（事前、事後学習も実施）

(3) 中学生福祉体験事業（川根）

川根中学校の生徒を対象に、福祉施設における体験を通して、福祉に対する正しい理解と認識を高めるため、福祉に触れる機会を提供しました。

実施日 平成22年5月12日(水)・13日(木)（2班に別れ、日帰りの2日間で実施）

場 所 天竜厚生会研修センター（浜松市天竜区）

参加者 川根中学校 1年生 51名

(4) 福祉教育推進連絡会

①第1回

福祉教育を学校で推進する教諭を対象に「福祉」について改めて考え、学校での活動の参考にしていただくため講演を中心とした学習会を実施しました。

日時 平成22年6月18日（金） 15時5分～16時20分

会場 島田市民総合施設プラザおおるり 第一多目的室

内容 基調講演「福祉教育推進上の課題」、社協事業の紹介

講師 清水将一氏（静岡福祉大学社会福祉学部福祉心理学科 准教授）

参加者 小学校教諭14名、中学校教諭8名、高等学校教諭1名、学校教育課指導主事 1名
合計24名

②第2回

1年間の福祉教育の取り組みを各学校の事例をもとに、来年度に向けての活動につなげるための意見交換を実施しました。

日時 平成23年2月26日（金） 15時～16時35分

会場 島田市民総合施設プラザおおるり 第三多目的室

内容 基調講演「福祉教育の視点について」、意見交換

講師 鎌田真理子氏（静岡県人権啓発センター 人権指導員）

参加者 小学校教諭15名、中学校教諭8名、高等学校教諭1名
学校教育課指導主事 1名 合計25名

(5) 学校活動支援事業

学校活動（授業、委員会、クラブ）で福祉をテーマに学習を進める際に、先生の相談に応じ、

協力者の紹介、備品の貸し出しなど、よりよい学習が展開できるように支援しました。

学習内容（支援内容）	実施校
高齢者擬似体験（体験セットの貸出と説明）	第四小 4 年生、第五小 4 年生、金谷小 4 年生、初倉中 2 年生、大津小 4 年生
アイガイド体験（白杖、アイマスクの貸出）	第二小 5 年生、金谷小 4 年生、大津小 4 年生、附属中 1 年生、北中 2 年生、初倉中 2 年生
車いす体験（車いすの貸出と説明）	第一小 5 年生、第三小 5 年生、金谷小 4 年生、北中 2 年生、初倉中 2 年生
視覚障害者との交流（当事者の紹介）	第一小 5 年生、第三小 5 年生、第二小 5 年生、初倉小 4 年、神座小 4 年生、相賀小（4 年、5 年生）、初倉中 2 年生
車いす生活者との交流（当事者の紹介）	第一小 5 年生、第三小 5 年生、初倉小 4 年生、初倉中 2 年生
聴覚障害者との交流（当事者の紹介）	大津小 4 年生
高齢者との交流（ふれあいサロンの紹介）	第一小 5 年生、初倉中 2 年生
福祉学習の導入（職員による講話）	附属中 1 年生、初倉中 2 年生、北中 2 年生

（6）福祉ステップアップ講座

学校教職員や地域住民の福祉に対する理解と関心を深め、学校と地域が連携して福祉教育を展開するため、基調講演及びパネルディスカッションを実施しました。

※志太 3 市社協及び NPO おのころ島の共催

□実施日時 平成 22 年 8 月 19 日（木）10 時～16 時

□会場 藤枝市生涯学習センター

□参加者 30 名

志太地区の教職員 11 名（島田 5 名）

志太地区の地区社協関係者 19 名（島田 10 名）

□内容

①基調講演「福祉教育を地域全体で進めていくために」

講師：山本伸晴氏（元常葉学園短期大学学長）

②パネルディスカッション

□テーマ 学校と地域が一緒に福祉教育に取り組むことでどんな効果が期待できるか

□コーディネーター 山本伸晴氏（元常葉学園短期大学学長）

□パネリスト 橋本 純氏（藤枝北高等学校教諭）

増田静子氏（焼津市小川地区地域福祉推進委員会）

井出一史氏（NPO 法人障害者生活支援センターおのころ島理事長）

持塚新次（島田市社協）

(7) 男性のため料理教室

60歳以上の男性を対象として料理をテーマに自分のライフスタイルの見直しと地域活動の参加のきっかけづくりを目的に実施しました。

□参加費 300円

□講師 管理栄養士：塩澤春美氏

開催日時	参加者	内容	会場
9月3日(金)	9名	・現在の高齢者の栄養の摂取方法について ・簡単調理の実践(混ぜご飯、3品)	夢づくり会館
9月28日(火)	12名	・現在の高齢者の栄養の摂取方法について ・簡単調理の実践(混ぜご飯、4品)	プラザおおるり

5. 障害者福祉事業

(1) 重度障害者等移動支援事業(市委託事業)

公共交通機関を利用することの困難な車いす生活者、寝たきりの方などを対象に福祉車両の貸し出しを行いました。併せて社協独自で運転ボランティアサービスを実施し、利用者の利便向上を図りました。

□金谷地区 ザッツ 85回

□島田地区 ファンカーゴ 195回

ハイエース 113回 合計 393回(往き帰りで別の車両使用有り)

□運行 392回(家族・知人256回、運転ボランティア129回、行政/社協7回)

□目的 通院 257回、その他(研修、行事参加) 135回

(2) 車いす貸出事業

傷病等の理由により歩行困難な方へ、車いすを無料で貸与し、日常生活の向上や社会参加の促進、家族介護の軽減を図りました。また学校での福祉体験、投票所での利用のための貸し出しも行いました。

□所有台数 45台

□貸出場所 社協事務局(おおるり)、かわね事務所

□実績 延べ 270件

□内訳 個人 延べ 185件

地域団体 延べ 5件

学校 延べ 60件

行政 延べ 20件

6. 高齢者福祉事業

(1) 伊久身生きがい倶楽部

伊久身地区のお年寄りが、地域の中で生きがいを持って生活できるよう交流会を開催し、お年寄り同士のふれあいの場を提供しました。なお平成23年度からは、地区が主体となって実施していくことになりました。

□内 容 血圧測定、介護予防を中心とした体操、レクリエーション、握力測定等

□実施回数 各地区3回実施

□参加者数(延べ人数) 108人

開催場所	参加者数	開催場所	参加者数
川口地区	21人	犬間地区	14人
小川地区	31人	大平地区	6人
二俣地区	19人	中平地区	17人

(2) 家族介護者交流事業(介護者のつどい、リフレッシュ旅行 市委託事業)

①介護者のつどい(各会場毎月1回開催)

介護者同士のつながりを深めるとともに、介護者自身の心身のリフレッシュを図ることを目的に毎月1回、市内の3ヶ所を会場に実施しました。日頃の介護の様子やアイデアなどを自由に話し合う「おしゃべり会」を中心に行い、介護者が抱える苦労を参加者同士で共有することで精神的負担の軽減を図りました。また、ケアマネを交えた話し合い等の学習会を開催し、これからの介護に役立つ情報提供を行いました。

※(金谷会場/島田会場/川根会場)で掲載

	内 容	参加者数
4月	おしゃべり会 / おしゃべり会 / ※川根会場なし	8名/9名
5月	薬に関する話を聞こう / ケアマネと話をしよう / おしゃべり会	7名/10名/6名
6月	合同企画:「笑座楽し舞歌」と一緒に歌おう・昼食会	23名
7月	貯筋体操をしよう / 貯筋体操をしよう / おしゃべり会	4名/8名/5名
8月	ストレスと上手に付き合おう / ストレスの発散をしよう / 認知症について知ろう	5名/14名/5名
9月	合同企画:外出(焼津・静岡方面で食事と買い物)	19名
10月	保健師から話を聞こう(介護予防) / 保健師から話を聞こう(介護予防と口腔ケア) / 介護のポイント(車椅子の使い方)	6名/9名/2名
11月	介護予防とおしゃべり会 / ミニ介護教室 / フラワーアレンジメントでリフレッシュ	6名/8名/3名
12月	クリスマス会 / お楽しみ昼食会 / インフルエンザ・ノロウィルスの予防と対策	6名/10名/6名
1月	合同企画:レクリエーション・介護体験者から話を聞こう	19名
2月	川根温泉の足湯へ入ろう / ケアプランの作り方 / アロマテラピーとは	8名/10名/3名
3月	ケアマネと話をしよう / 薬に関する話を聞こう / 足湯に行こう	6名/12名/3名
合計:	合同(6、9、1月) 61名 金谷地区 56名 島田地区 90名 川根地区 33名 総合計 240名	

②リフレッシュ旅行

在宅介護者が、一時的でも要介護者への心配や気がかりを残すことなく、介護者自身の心身のリフレッシュが図れるよう、市との共催で日帰りのバス旅行を実施しました。参加者が同じ時間

を共有する中で、介護者同士のつながりを深めることができました。また、日頃自分の時間を持ちにくい介護者がゆったりと食事や温泉を楽しむことができ、たくさんの笑顔が生まれました。

- 実施日時 平成22年11月26日(金) 8時出発 18時帰着
- 参加者 在宅介護者50名(同行職員:社協3名、長寿介護課2名)
- 内容 日帰りバス旅行(昼食と入浴)
- 行き先 箱根 小涌谷温泉

(3) 介護教室(市委託事業)

在宅介護者を対象とし、介護に関する知識や技術を習得するための講座を開催しました。「身体介護」と「認知症介護」の二つのテーマにわけて実施することで、対象者のニーズにあわせた講座となり、今後の介護に活かすための学びの場となりました。

□第1回 「身体介護」

開催日	場所	内容	講師	参加者
8月7日(土)	プラザ おおるり	・介護保険制度と高齢者サービスについて ・高齢者の身体能力や心の変化について	島田市長寿介護課 保健師 太田たまき氏	12名
8月21日 (土)		・高齢者の食事と介護食について ・食事介助と排泄介助の実技	管理栄養士 中村由起氏 島田市社会福祉協議会 介護事業課職員 沖舘美智子	9名

□第2回 「認知症介護」

開催日	場所	内容	講師	参加者
2月19日 (土)	市民会館	・認知症の理解と接し方	島田市社会福祉協議会 介護支援専門員 山崎いつ子	16名
2月20日 (日)		・認知症予防と認知症サポーターについて	島田市長寿介護課 保健師 太田たまき氏	12名

(4) ふれあいコール(市委託事業)

ひとり暮らし高齢者の安否確認、健康チェックを行い、緊急時に対応するとともに、閉じこもりや孤立感の解消、認知症予防につなげることを目的に実施しました。

- 対象者 65歳以上のひとり暮らし高齢者
- 内容 2週間に1回の電話連絡による相談対応と安否確認

月	登録者数	実施件数	月	登録者数	実施件数
4月	88名(2名)	144件	10月	84名	126件
5月	88名(2名)	139件	11月	81名	122件
6月	85名	134件	12月	81名	140件
7月	86名(1名)	135件	1月	81名	137件
8月	85名	146件	2月	81名	134件
9月	85名(1名)	137件	3月	84名(3名)	144件
合計年間実施件数: 1,638件 ※ () は新規利用スタート					

7. 児童福祉事業

(1) 入学・卒業年次支援金

共同募金の配分により、支援を必要とする児童・生徒に対して入学準備等が行えるように支援金を

贈呈しました。

○対象：準要保護世帯及び民生委員児童委員が必要と判断する世帯

- 小学校入学予定者 38名 @10,000円×38名=380,000円
- 中学校入学予定者 57名 @10,000円×57名=570,000円
- 中学校卒業予定者 59名 @10,000円×59名=590,000円

合計：154名 総額：1,540,000円

(2) 子どもの遊び場整備事業

市内の公園に設置してある遊具等で、修繕・撤去が必要な場合に、費用の一部を助成しました。

助成額 497,000円

地区	助成金額	内容
本通六丁目町内会	34,000円	本通六丁目大神宮前広場の複合遊具の修繕
若松町町内会	32,000円	若松町チビッコ広場の遊具等（パーゴラ、ベンチ、園内灯）の修繕
祇園町町内会	37,000円	須田神社境内の遊具（うんてい）の修繕
阿知ヶ谷町内会	96,000円	阿知ヶ谷チビッコ広場の遊具等（ブランコ、スプリング遊具、すべり台、ベンチ、園内灯）の修繕
向谷一丁目・三丁目町内会	73,000円	バイパス下ミニ広場の遊具（ブランコ、うんてい）の修繕
高砂町内会	67,000円	高砂町チビッコ広場の遊具（ブランコ、すべり台、複合遊具）の修繕
御仮屋町自治会	100,000円	大井神社御旅所の遊具（ブランコ）の修繕
稲荷町自治会	58,000円	稲荷町ミニ広場の遊具（ブランコ）の修繕

(3) チャイルドシート貸出事業

- 対象 親一人世帯、低所得世帯でチャイルドシートの購入が困難な世帯及び里帰り出産や冠婚葬祭等の理由により短期利用（1ヵ月程度）を希望する世帯
- 貸出期間 1年間
- 実績 6件の貸出（親一人世帯1件、低所得世帯0件、短期利用5件）

(4) じいじ・ばあばの孫育てサポート教室

じいじ・ばあば世代の孫育て支援を目的に、新規事業として開催し、現代の子育て事情や市内の子育て情報を提供しました。

- 会場 プラザおおるり 3階和室
- 定員 20名
- 参加者

実施日	内容	講師	参加者
11月8日	「じいじ・ばあばの子育てと嫁のおねいまだ次世代育成支援ネットワーク いまだきの子育ての理解と祖父母の役割について」	しまだ次世代育成支援ネットワーク	12名

	て	染谷絹代氏	
11月15日	「食で育てよう～子どものころとからだ～」 いまどきの食事に関する習慣や知識、「食育」について紹介	管理栄養士 塩澤春美氏	11名
11月22日	「さまざまな愛を受けて孫は育つ」 祖父母だからこそできること、今しか出来ないふれあいと子育てについて参加者全員で意見交換	かわね子育て支援センターむくむく 西村やえ氏	11名

(5) 孫育てサロンおおるりきしゃぼっぽ

じいじ・ばあばの孫育て支援を目的に、月1回孫を連れて気兼ねなく遊びに来てもらえる場所を提供し、子ども同士のふれあいと、孤立しがちな祖父母世代の孫育てをサポートしました。また現代の子育て情報を提供するとともに、季節の行事や手遊びなどを紹介し、一緒に遊ぶ楽しさを味わっていただきました。

- 対 象：未就学園児の孫をもつ祖父母
- 会 場：プラザおおるり 3階和室大
- 共 催：しまだ次世代育成支援ネットワーク
島田市社会福祉協議会

実施日	内 容	参加者
6月7日	はじめまして！新しいきしゃぼっぽへようこそ 紙芝居・ペープサート・アンパンマンと遊ぼう	25組
7月5日	七夕さま「笹飾りを作って遊ぼう」 水遊びの安全対策ミニ講座	18組
8月2日	お楽しみパントマイムマジックショー！ 食育講座	14組
9月6日	小麦粉ねん土で遊ぼう ペープサート「月うさぎ」	15組
10月4日	楽しい音楽会「ハーモニカ・オートハープの演奏」	18組
11月1日	おばあちゃんと楽しいストレッチ体操	16組
12月6日	クリスマス会「サンタさんようこそ」 クリスマスミニコンサート	20組
2月7日	「豆まき」伝統行事を楽しもう 子どもの発達としつけミニ講座	18組
3月7日	ありがとうの会 楽しい腹話術	12組

8. 相談援助事業

(1) 福祉総合相談

リーマンショックを受け、平成21年度急増した相談も落ち着きを見せてきましたが、相変わらず厳しい経済状況が続く中、生計相談を中心として多くの相談が寄せられました。

□相談員 24名

□相談日 月～金曜日 8:30～17:00

※月曜日と金曜日は相談員が対応(9:30～12:00)

□弁護士相談 毎月25日

□結婚相談 毎月第2土曜日(平成23年3月31日事業終了)

□相談件数

No.	区分	平成22年度	平成21年度	前年度比
1	生計・年金	293	404	△ 111
2	職業・生業	0	4	△ 4
3	住宅	7	7	0
4	家族	10	25	△ 15
5	結婚	2	1	1
6	離婚	21	16	5
7	健康・保健	2	1	1
8	人権・法律	3	4	△ 1
9	財産	24	15	9
10	事故	0	4	△ 4
11	児童福祉	1	2	△ 1
12	障害者(児)福祉	5	3	2
13	母子(父子)福祉	0	0	0
14	老人福祉	3	5	△ 2
15	苦情	3	4	△ 1
16	その他	15	21	△ 6
17	結婚相談	67	218	△ 151
	計	456	734	△ 278

(2) 旅費欠者援助事業

旅費の欠乏した行路者に対し、東方面は焼津、西方面は菊川までの乗車券の支給をし、必要な方には食料も併せて支給し、目的地まで無事に到着できるよう支援を行いました。

□乗車券の支給 127名

《内訳》 島田→焼津 62名 島田→菊川 65名

□食料支援 56名

《内訳》乾パン スティックパン、ゼリー、玄米ブラン、カロリーメイトなど

9. ボランティアセンター活動事業

(1) ボランティア活動保険助成事業

市内で活動する個人ボランティアが安心して活動できるようにするため、全社協「ボランティア活動保険」の加入促進と市民の方への掛金に対する助成を行いました。

□加入者 2, 807名 (内助成対象者2, 400名)

基本Aプラン：2, 560名 基本Bプラン232名

天災Aプラン： 12名 天災Bプラン 3名

□実績：336, 000円 (助成額@140円×2, 400名)

(2) 福祉レクリエーション講座

①活動者向け

高齢者の集いを各地区で実施していますが、ボランティアとしてすでに活動している方々へ、新しい材料や技術を学ぶことで、地区での活動に生かしていただくために実施しました。

実施日	会場	講師	人数	内容
7月31日	はなみずき	野末あけみ (浜松社協)	57	ゲーム、体操、工作
8月28日	はなみずき	伊藤玲子 (ウェルネス運動指導員)	53	介護予防につながる体操
9月18日	はなみずき	小池幸子 (レコーデーター)	40	ゲーム、体操
10月16日	はなみずき	三宅陽子 (島田社協)	45	ゲーム、体操、工作
11月20日	はなみずき	梶原美由紀 (レコーデーター)	48	脳活性ゲーム、体操①
12月18日	はなみずき	小澤康恵 (保育士)	38	ゲーム、体操
1月29日	はなみずき	田井中正志 (県レク協会)	45	簡単にできる体操①
2月26日	はなみずき	田井中正志 (県レク協会)	43	簡単にできる体操②
3月12日	はなみずき	梶原美由紀 (レコーデーター)	24	脳活性ゲーム、工作②
参加者			393	

②入門編

活動を始めたばかりの方やこれから始めようと思っている方々を対象に、ボランティアとしての心構えや高齢者のことについて学び、活動を充実させ、ボランティアとして長く活動できるように講座を開催しました。

実施日	会場	講師	人数	内容
1月31日	おおるり	小池幸子 (レコーデーター)	21	ボランティアとしての心構え
2月7日	おおるり	小池幸子 (レコーデーター)	28	レクの進め方と効果
参加者			49	

(3) ボランティア活動室管理

ボランティア活動の推進の為、ボランティア団体に活動場所として、島田市保健福祉センターはなみずき「ボランティア活動室」を貸し出しました。

□利用団体：21団体

□実績

	利用時間帯	件数	利用人数		利用時間帯	件数	利用人数
平日	午前	31件	246人	土日祝	午前	1件	4人
	午後	37件	292人		午後	28件	231人
	午前・午後	55件	343人		午前・午後	1件	8人

	夜間	129 件	1,357 人		夜間	8 件	115 人
	小 計	252 件	2,238 人		小 計	38 件	358 人
	合 計	利用件数	290 件		利用数		2,596 人

(4) ボランティア・地域福祉活動資機材等購入費助成事業

市内で地域福祉事業を主に行っているボランティア団体や地域福祉活動団体の事業拡充を図るために必要な資機材購入の一部助成を行いました。

□助成額 上限50,000円とし、購入費1割を団体の自己負担とする

No.	団 体 名	購入資機材	助成額
1	しろやまサロン	タイピン型マイク	37,000 円
2	寄らっ会	CDラジカセ・ゴムボール	25,000 円
3	ぼっかぼかサロン	子ども用遊具・絵本等	17,000 円
4	しまだおもちゃ図書館「でんでん虫」	CDラジカセ・マイク・絵本	18,000 円
5	声のボランティア「ともしび」	ヘッドホン・マイク	28,000 円
6	スマイルの会	子ども用遊具 (玩具等)	29,000 円
7	あすなる会	カラーリング・エクササイズボール	12,000 円
8	地域親子サークル りとるきつずたかさご	子ども用遊具 (玩具等)	12,000 円
9	道悦島地区社会福祉協議会	子ども用遊具 (すべり台等)	45,000 円
10	NPO 法人こころ	コーヒーマーカー	50,000 円
11	サロン・ド・モネ	クッキングカッター	13,000 円
合 計			286,000 円

(5) 傾聴ボランティア講座

孤独感の解消や生きがいづくりのため、傾聴ボランティアの活動が重要視されています。またこの講座で傾聴技法を学び、活動につなげていけるように開催しました。また講座受講生等にて傾聴ボランティア「ミミの会」を発足、高齢者施設等で活動を実施しています。

実施日	会 場	講 師	人数	内 容
5月29日(土)	おおるり	(有)システムデザイン研究所	10	聴き手の心構え
6月5日(土)	おおるり	(有)システムデザイン研究所	9	傾聴基本訓練2
6月12日(土)	おおるり	(有)システムデザイン研究所	9	自分の聴き方を知ろう
合計：3回実施 参加者：28名				

(6) 災害ボランティアセンター立上げ訓練

災害時に、島田市災害対策本部の指示に基づき設置されることになる島田市災害ボランティアセンターが、災害時機能するセンターとなるよう訓練を実施しました。

□実施日時 平成23年1月15日(土) 8時30～12時00分

□会場 島田市民総合施設プラザおおるり 1階展示ホール

- 参加者 117名
- ①ボランティア参加者 87名
 災害VC9名 自治会・自主防・地区社協10名 民生委員25名
 島田一中4名 島田二中5名 初倉中6名 北中5名 島田工業高校1名
 島田樟誠高校1名 社協サポーター1名
 藤枝市VC2名 牧之原市VC3名 社協職員15名
- ②運営の社協職員 26名
- ③市職員 4名（市民安全課2名 福祉課2名）

(7) 災害に負けない福祉のまちづくり講座

災害ボランティアセンターの運営に関するスタッフ確保や育成、災害時の地域のあり方、日頃の取り組み(小地域福祉)を紹介する講座を実施しました。

- 実施日時 平成22年11月25日(木) 19時～21時
- 会場 島田市民総合施設プラザおおるり 大会議室
- テーマ 「地域で取り組む災害への備え ～ふだんの絆が活きる時～」
- 講師 李仁鉄氏 (NPOにいがた災害ボランティアネットワーク)
- 参加者 134人 (町内会役員、民生委員、ボランティア、社協役員
 災害ボランティアコーディネーター、社協職員等)

(8) ママだからこそできるボランティア講座

現役の母親だからこそできるボランティア活動を見つけるきっかけづくりと人材を育成することを目的に講座を開催しました。

実施日	内 容	講 師
5月14日(月)	母親3人からはじまったおもちゃ図書館 ・活動内容の紹介	石橋みさえ氏
5月28日(月)	身近なボランティアから始めよう。収集活動の紹介 ・リサイクルから始める活動の紹介 ・リサイクル品からおもちゃづくり	社協職員
6月8日(火)	さわやかいなり(地域高齢者サロン)での活動 ・高齢者との交流・レクリエーションの実施	代表 荒浪道子氏

- 会場：プラザおおるり、稲荷町公会堂
- 参加者：10名(申込者) 1日目：5名、2日目：7名、3日目：9名

10. 歳末たすけあい募金配分金事業

新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう様々な事業を実施しました。

(1) 年越し支援金贈呈事業

対象 島田市在住で、平成22年10月1日現在、全世帯員の住民税が非課税であり、以下の①～③に該当する世帯。ただし、生活保護世帯は除く。

①母子父子家庭で中学生以下の子どもがいる世帯（児童扶養手当の全部支給に該当）

②障害児・者のいる世帯（身障手帳1・2級、療育手帳A・B、精神障害手帳1級のいずれかに該当）

③満75歳以上のひとり暮らし世帯・高齢者世帯で経済的支援を必要とする世帯

支援金 一世帯8,000円

件数 181世帯

金額 1,448,000円

(2) 在宅寝たきり介護家庭支援事業

在宅で寝たきりの生活をされている方のいる家庭へ、民生委員児童委員を通して支援品を贈呈しました。

支援品 防水シート

件数 275世帯

(3) ライフライン復旧支援金事業

ライフライン（電気・ガス・水道）が止まっている世帯等に対して、復旧に必要な費用を支援しました。

支援額 55,482円

支援世帯数 2世帯

(4) 思いやり商品券贈呈事業

「年越し支援金」対象外であっても民生委員児童委員が支援を必要と認める生活困窮世帯に対し商品券を贈呈しました。

激励品 商品券（5,000円分）

件数 146世帯

(5) 年末年始交流事業助成事業

年末年始に福祉目的をもって高齢者、児童、障害者等が交流事業を行う施設や団体に対して事業費の一部を助成しました。

助成金額 上限額 30,000円

実績 14団体 404,000円

11. 資金貸付事業

(1) 小口資金貸付事業

①小口資金貸付

低所得世帯を対象に、緊急かつ一時的に必要とする生活費等の資金を貸し付け、併せて必要な援助指導を行い、生活の安定を図るために実施しました。

□貸付限度額 10万円、1年以内償還、保証人必要

区分	件数	前年度末 貸付残額	現年度実績		残額 (円)
			貸付金	償還金	
過年度	57	3,668,053		328,770	3,339,283
現年度	1		100,000	29,000	71,000
合 計	58	3,668,053	100,000	357,770	3,410,283

②卒業・進級支援金貸付 ※平成21年度卒業支援金見直しによる

保護者等の経済的事情により授業料等が納められず、卒業及び進級に影響が出る生徒等に卒業進級支援金を貸し付けました。

□貸付限度額 30万円、生徒等の卒業後3年以内償還（据置3ヶ月）、保証人不要

区分	件数	前年度末 貸付残額	現年度実績		残額 (円)
			貸付金	償還金	
過年度	2	187,000		60,000	127,000
現年度	0		0	0	0
合 計	2	187,000	0	60,000	127,000

(2) 高額療養費貸付事業

高額療養費の支払いに困窮する国民健康保険加入の方を対象に、資金を貸し付け、生活の安定を図るために実施しました。

□貸付限度額 1回あたり100万円以内、保証人不要

区分	件数	前年度末 貸付残額	現年度実績		残額 (円)
			貸付金	償還金	
過年度	3	496,932		223,000	273,932
現年度	15		1,882,000	1,164,000	718,000
合 計	18	496,932	1,882,000	1,387,000	991,932

(3) 生活支援事業

低所得世帯を対象に、緊急かつ一時的に必要とする生活費、または生活物資（お米券や商品券）を支給して、当面の生活の安定を図るために実施しました。一時的なつなぎ資金としての役割を担っており、その後の生活については、民生委員や行政等と連携をとりながら対応しました。

①生活援護費貸付

□貸付限度額 3万円以内、保証人不要

区分	件数	前年度末 貸付残額	現年度実績		残額 (円)
			貸付金	償還金	

過年度	98	2,247,000		577,000	1,670,000
現年度	39		1,001,000	521,000	480,000
合計	137	2,247,000	1,001,000	1,098,000	2,150,000

②緊急生活物資支給

□お米券（1枚1kg）又は商品券（1枚500円）合計10枚を限度に支給

区分	件数	支給数(枚)	金額等
お米券	4	15	15kg
商品券	14	112	56,000円相当

(4) ライフライン復旧支援金支給事業

ライフライン（電気・ガス・水道）が停止等している世帯に対し、その復旧にかかる資金を支給し当面の生活の安定を図るために支援を行いました。

□支給額 一世帯 30,000円を限度とし1回限りの支給

□件数 5件（139,560円）

(5) 奨学資金貸付事業

低所得世帯を対象に、旧島田市社協事業として高校や大学等に就学するために必要な資金を貸し付け、生活の安定を図るために実施してきましたが、合併後廃止したため、現在は償還事務のみ実施しています。

区分	件数	前年度末貸付残額	現年度償還実績額	残額(円)
過年度	6	1,615,550	84,000	1,531,550

(6) 生活福祉資金貸付事業（県社協事業）

国の新たなセーフティネット強化の一環として貸出要件が緩和された新制度のもとで、多くの生活困窮者に対する貸付を行い、生活再建に向けた支援を行いました。

① 生活福祉資金

福祉資金（福祉費／緊急小口資金）、教育支援資金※旧離職者支援資金を含む

区分	件数	貸付金(円)	償還済額(円)	本年度償還額(円)	償還額計(円)	残額(円)
過年度	47	27,283,000	15,718,010	2,949,453	18,667,463	8,615,537
今年度	27	7,752,000	0	870,500	870,500	6,881,500
合計	74	35,035,000	15,718,000	3,819,953	19,537,963	15,497,037

② 総合支援資金

失業等の理由による生活困窮世帯への就労支援を含めた生活費等の貸付

区分	件数	貸付金(円)	償還済額(円)	本年度償還額(円)	償還額計(円)	残額(円)
----	----	--------	---------	-----------	---------	-------

過年度	15	7,310,733	0	82,290	82,290	7,228,443
今年度	34	20,800,150	0	0	0	20,800,150
合 計	49	28,110,883	0	82,290	82,290	28,028,593

③ 臨時特例つなぎ資金

失業し住居喪失となった世帯へ総合支援資金等貸付や給付が受けられるまでの間のつなぎ資金の貸付

区分	件数	貸付金(円)	償還済額(円)	本年度償還額(円)	償還額計(円)	残額(円)
過年度	8	750,000	136,660	185,030	321,690	428,310
今年度	2	200,000	0	20,000	20,000	180,000
合 計	10	950,000	136,660	205,030	341,690	608,310

1 2. 福祉サービス利用援助事業

静岡県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等、日常生活に不安のある方が地域で自立した生活が送れるよう支援をしました。利用者の居所へ生活支援員を派遣し、福祉サービスの利用に関する相談対応や手続き支援、計画的な出金や公共料金等の支払いを含む日常的な金銭管理、大切な書類等の預かり、見守りなどを行いました。

基幹的社協として、島田市だけでなく、牧之原市、吉田町、川根本町をエリアに持ち、初期相談から支援計画の作成、関係機関との調整、契約締結等を行い、管轄内社協と連携を図りながら、利用者支援にあたりました。

□生活支援員数 28名

□実働件数 30件（うち、今年度契約件数 15件） ※（ ）は年度内解約件数

区 分	島田市	牧之原市	吉田町	川根本町	合 計
認知症高齢者	3	2	1	0(1)	6(1)
知的障害者	3	3	2	1	9
精神障害者	5	3	1	0	9
その他	2	1	2	1	6
合 計	13	9	6	2	30(1)

1.3. 生きがい活動通所支援事業（市委託事業）

介護保険の給付対象とならない、市内の概ね60歳以上で家に閉じこもりがちな高齢者の方に、余暇活動、日常動作訓練、レクリエーションなどを提供して自立生活を支え、要介護状態になることを予防するための事業を実施しました。

(1) 生きいきサロンはつくら（阪本）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	242	230	1.2
利用者数（人）	1,881	1,744	1.37
1日平均（人）	7.8	7.6	0.2

(2) 伊久身デイサービスセンター（伊久美）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	146	187	▲41
利用者数（人）	1,178	1,129	4.9
1日平均（人）	8.1	6.1	2.0

(3) 生きがい対応型デイサービスセンター ふれあい（金谷 島）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	197	193	4
利用者数（人）	1,872	1,732	1.40
1日平均（人）	9.5	9.0	0.5

(4) 生きいきサロンさくら（川根町家山）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	193	141	5.2
利用者数（人）	1,770	1,818	▲4.8
1日平均（人）	9.2	12.9	▲3.7

(5) 生きいきサロンいなり（稲荷四丁目）

平成22年度より生きいきサロン「いなり」として新たに開所

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	48	0	4.8
利用者数（人）	237	0	2.37
1日平均（人）	4.0	0	4.0

1.4. 通所型介護予防事業（市委託事業）

要介護状態となる可能性の高い特定高齢者を対象に、市内3施設において開催し、転倒骨折の防止

に関する事業や加齢に伴う運動機器の機能低下の予防に関する事業等を行いました。

(1) げんき教室いなり（稲荷四丁目）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	194	236	▲42
利用者数（人）	1,570	1,389	181
1日平均（人）	8.1	5.9	2.2

(2) げんき教室茶つきり（金谷 竹下）

今年度より金谷北地域総合センター内に移転し、げんき教室「茶つきり」として新たに開所

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	95	43	52
利用者数（人）	688	260	428
1日平均（人）	7.2	6.0	1.2

(3) げんき教室さくら（川根町家山）

区 分	平成22年度	平成21年度	前年度比
開所日数（日）	49	48	1
利用者数（人）	473	399	74
1日平均（人）	9.7	8.3	1.4

15. 介護事業

介護保険事業

平成12年4月からスタートし、誰もが心配している介護の問題を、地域社会全体で支え合うために作られた制度です。65歳以上の方は、常に介護を必要とする状態（要介護状態）や、日常生活に支援が必要な状態（要支援状態）になった場合にサービスが受けられます。40歳以上65歳未満の方は、認知症、脳血管疾患など老化が原因とされる病気（特定疾病）により要介護状態や要支援状態になった場合に、サービスが受けられます。

平成18年4月の介護保険法改正により、要支援の方に対するサービス提供は「予防給付」とされ、要介護の方に対するサービス提供は「介護給付」という形となりました。

(1) 居宅介護支援事業 <ケアプラン作成> しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

介護保険サービスを利用する方などからの相談にケアマネジャーが応じ、利用者・家族等の希望や心身の状態を考慮し、適切なサービスが利用できるよう市・事業所・各施設との連絡調整を行いケアプランの作成をする事業です。

※要支援者に対するケアプラン作成は、地域包括支援センターより委託を受け作成を行いました。

しまだ事業所

①介護給付 <要介護1以上の方のケアプラン作成>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数 22年度(件)	203	210	210	214	210	213	213	217	219	216	215	224	2,564
作成件数 前年度(件)	222	230	223	216	219	214	212	215	210	199	195	199	2,554
	前年度比												10

②介護予防給付 <要支援1・2の方のケアプラン作成>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数 22年度(件)	24	23	24	21	21	19	19	20	21	18	19	19	248
作成件数 前年度(件)	37	35	35	34	33	33	33	31	32	31	27	26	387
	前年度比												▲139

かわね事業所

①介護給付 <要介護1以上の方のケアプラン作成>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数 22年度(件)	69	73	71	70	69	70	71	71	70	69	65	68	836
作成件数 前年度(件)	66	62	64	66	71	71	70	70	68	68	68	67	811
	前年度比												25

②介護予防給付 <要支援1・2の方のケアプラン作成> 平成22年度作成実績 なし

(2) 訪問介護事業・予防訪問介護事業<ヘルパー訪問> しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

訪問介護員（ホームヘルパー）が家庭を訪問して、身体介護（食事や排泄の介助等）、生活援助（調理や掃除、洗濯等）を提供し、あわせて利用者や家族の相談等を行う事業です。予防訪問介護事業では、自立支援を目的とするため、利用者の有する能力を最大限活用したサービス提供を行いました。

しまだ事業所

①訪問介護＜要介護1以上の方＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	46	49	46	45	42	45	45	49	47	50	47	49	560
	前年度(人)	60	61	57	56	51	48	47	46	44	43	44	46	603
													前年度比	▲43
提供回数	平成22年度(回)	966	980	1,008	990	918	945	958	884	918	962	984	1,047	11,560
	前年度(回)	1,319	1,266	1,303	1,241	1,118	1,061	1,015	887	919	860	934	997	12,920
													前年度比	▲1,360

②予防訪問介護＜要支援1、2の方＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	12	14	15	16	16	17	16	16	16	13	15	14	180
	前年度(人)	15	15	15	14	14	13	13	12	12	13	12	12	160
													前年度比	20
提供回数	平成22年度(回)	71	76	100	100	96	93	90	101	98	74	80	98	1,077
	前年度(回)	81	79	87	81	76	68	72	63	62	63	60	66	858
													前年度比	219

かわね事業所

①訪問介護＜要介護1以上の方＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	11	12	12	11	11	10	11	12	13	11	10	11	135
	前年度(人)	13	10	10	12	13	12	11	11	14	16	12	11	145
													前年度比	▲10
提供回数	平成22年度(回)	147	141	129	109	113	115	129	135	128	108	162	223	1,639

前年度 (回)	210	230	187	204	189	193	138	146	186	206	198	180	2,267
前年度比													▲628

②予防訪問介護<要支援1、2の方>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度 (人)	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	2	19
	前年度 (人)	3	5	4	3	2	2	2	2	2	1	2	2	30
前年度比													▲11	

提供回数	平成22年度 (回)	9	13	13	13	12	12	4	5	4	4	4	7	100
	前年度 (回)	12	21	23	13	8	9	8	9	6	4	7	9	129
前年度比													▲29	

(3) 訪問入浴介護事業・予防訪問入浴介護事業<入浴サービス> しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

入浴設備を備えた専用車(入浴車)で要介護者等の自宅を訪問し、看護職員1人・介護職員2人の計3人が一組となり、浴槽を家庭に持ち込み、身体の清潔保持、心身機能の維持等を行う事業です。

予防訪問入浴では、利用者の有する能力を最大限活用したサービス提供を行いました。

しまだ事業所

①訪問入浴介護<要介護1以上の方>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度 (人)	49	49	46	47	44	45	42	37	37	33	34	38	501
	前年度 (人)	59	56	56	54	50	49	50	50	53	46	46	49	618
前年度比													▲117	

提供回数	平成22年度 (回)	244	228	222	229	216	210	193	171	160	141	149	191	2,354
	前年度 (回)	260	235	262	258	232	241	246	234	242	199	202	232	2,843
前年度比													▲489	

②予防訪問入浴介護 <要支援1、2の方> ※平成22年度サービス提供実績 なし

かわね事業所

①訪問入浴介護<要介護1以上の方>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度 (人)	9	10	9	9	10	10	11	12	12	9	9	12	122

	前年度 (人)	10	7	8	9	10	10	10	10	11	11	9	8	113
													前年度比	9
提供回数	平成22年度 (回)	53	52	56	61	83	79	92	84	72	55	53	78	818
	前年度 (回)	49	38	49	57	62	60	62	57	63	56	46	48	647
													前年度比	171

②予防訪問入浴介護 <要支援1、2の方> ※平成22年度サービス提供実績 なし

(4)訪問看護事業・介護予防訪問看護事業 <訪問看護ステーション> しまだ事業所

《事業内容》														
<p>看護師が家庭を訪問し、かかりつけ医師の指示に基づいて、介護に重点をおいた看護を行うと共に、家族と協力して介護支援を行いました。健康相談（血圧、脈拍測定など）・療養補助（チューブや医療器具の管理、取扱方法の説明など）・日常生活援助（床ずれ防止とその処置方法の説明等）を提供し、在宅で療養されている方が少しでも快適な日常生活がおくれるよう支援する事業です。介護予防訪問看護事業では、利用者の有する能力を最大限活用したサービス提供を行いました。</p>														

①訪問看護（要介護1以上の方）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度 (人)	10	10	11	9	9	8	8	8	13	15	11	12	124
	前年度 (人)	11	11	9	7	6	7	6	6	7	8	11	10	99
													前年度比	25
提供回数	平成22年度 (回)	67	68	67	64	49	45	38	46	65	58	51	67	685
	前年度 (回)	61	54	52	42	35	33	46	38	49	54	65	86	615
													前年度比	70

②予防訪問看護 <要支援1、2の方>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度 (人)	2	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2	2	22
	前年度 (人)	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
													前年度比	▲3
提供回数	平成22年度 (回)	9	8	9	9	8	5	7	8	8	1	8	5	85
	前年度 (回)	18	11	13	13	8	8	8	8	8	7	8	9	119
													前年度比	▲34

③医療訪問看護

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	前年度(人)	4	4	4	3	2	1	1	1	1	1	1	1	24
													前年度比	▲17
提供回数	平成22年度(回)	9	9	8	9	9	8	3	0	0	0	0	0	55
	前年度(回)	38	32	37	21	17	8	9	9	7	8	8	9	203
													前年度比	▲148

(5) 通所介護事業・介護予防通所介護事業 北部デイサービスセンター/川根デイサービスセンター

《事業内容》

通称デイサービスと呼ばれ、介護保険の要支援・要介護認定を受けた居宅の高齢者の方に、入浴や食事の提供、その他日常生活上の支援や機能訓練等を日帰りで受けていただく事業です。介護予防通所介護事業では、利用者の有する能力を最大限活用した機能訓練等を実施し、サービス提供を行いました。

北部デイサービスセンター 1日の利用者定員 15人

①通所介護事業（要介護1以上の方）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	26	27	27	30	30	30	30	29	28	28	28	32	345
	前年度(人)	26	26	26	24	24	25	23	25	24	24	26	26	299
													前年度比	46
提供回数	平成22年度(回)	247	205	265	276	297	262	252	240	229	225	228	256	2,982
	前年度(回)	238	204	260	265	246	240	233	205	200	213	212	258	2,774
													前年度比	208

②介護予防通所介護事業（要支援1・2の方）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	5	5	4	3	3	3	3	3	5	6	6	5	51
	前年度(人)	5	4	4	5	5	5	5	3	5	4	4	5	54
													前年度比	▲3

提供回数	平成22年度(回)	25	22	21	16	14	15	16	17	22	26	25	24	243
	前年度(回)	32	18	21	22	19	21	23	11	16	14	11	28	236
													前年度比	7

川根デイサービスセンター 1日の利用者定員 35人

①通所介護事業（要介護1以上の方）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	54	53	56	55	54	54	55	55	59	56	53	59	663
	前年度(人)	48	47	47	48	51	50	55	54	56	60	57	57	630
													前年度比	33

提供回数	平成22年度(回)	593	574	568	561	536	538	556	568	534	498	498	550	6,574
	前年度(回)	582	572	591	611	597	593	605	592	546	508	482	571	6,850
													前年度比	▲276

②介護予防通所介護事業（要支援1・2の方）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	7	7	5	4	5	5	4	4	4	4	4	5	58
	前年度(人)	7	8	6	6	6	6	8	9	12	11	11	11	101
													前年度比	▲43

提供回数	平成22年度(回)	34	36	36	30	30	30	26	24	22	22	19	28	337
	前年度(回)	47	38	38	39	34	34	44	40	51	41	43	53	502
													前年度比	▲165

障害者自立支援事業

障害の種類（身体障害、知的障害、精神障害）にかかわらず、障害者の自立支援を目的とした共通の福祉サービスは、共通の制度により提供を行うことなどを柱として平成18年4月より部分施行され、平成18年10月より全面施行されている制度。障害者自立支援法に基づく福祉サービスは、障害福祉サービス事業といたします。

(1) 障害福祉サービス事業 居宅介護 <障害者へのヘルパー訪問> しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

日常生活に支障をきたしている在宅の身体障害者・知的障害者・精神障害者で、その家族が介護を行えない等の状況にある場合、ホームヘルパーを派遣し、身体介護（入浴、排泄、体位変換等）、家事援助（調理、掃除、洗濯等）の提供を行う事業です。

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	20	20	21	21	21	21	20	19	20	20	20	19	242
	前年度(人)	22	24	21	20	20	21	21	21	21	20	21	20	252
													前年度比	▲10
提供回数	平成22年度(回)	144	109	163	164	162	161	145	141	130	139	136	149	1,743
	前年度(回)	248	230	236	212	177	155	131	143	134	148	120	155	2,089
													前年度比	346

かわね事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	55
	前年度(人)	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	44
													前年度比	11
提供回数	平成22年度(回)	34	29	33	35	35	31	34	35	33	33	33	40	405
	前年度(回)	28	30	30	25	27	29	31	30	30	24	30	33	347
													前年度比	58

(2) 障害福祉サービス事業 重度訪問介護 <重度障害者へのヘルパー訪問> しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする方に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行う事業です。

※平成22年度 提供実績なし

(3) 移動支援事業 (市委託事業) しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

屋外での移動が困難な障害者の方に、社会参加などで外出する際の移動の支援を行うものです。利用時間に応じて、利用者負担(原則一割)があります。ただし、介護保険の対象となる場合は、介護保険を利用することとなります。また、通院介助の場合は、障害福祉サービスの居宅介護(通院介助)を利用することとなります。

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	4	3	3	3	3	2	4	4	4	3	4	4	41
	前年度(人)	2	3	2	2	2	3	5	6	5	5	5	3	43
													前年度比	▲2
提供回数	平成22年度(回)	10	3	3	7	6	5	8	8	11	11	11	13	96
	前年度(回)	4	6	3	3	3	7	11	11	12	13	13	7	93
													前年度比	3

※平成22年度かわね事業所では提供実績なし

在宅介護支援事業

(1) 身体障害者訪問入浴介護事業 (市委託事業) しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

「身体障害者手帳」又は「療育手帳」の交付を受けた方であって、(1)自力又は家族の介助による入浴が困難な方、(2)医師が入浴を認めた方、(3)市内に住所を有するといった条件をすべて満たす場合に提供を行います。入浴設備を備えた専用車(入浴車)で自宅を訪問し、看護職員1人・介護職員2人の計3人が一組となり、浴槽を家庭に持ち込み、身体の清潔保持、心身機能の維持等を行う事業です。

※ただし、介護保険法による保険給付を受けることができる場合は対象外となります。

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	4	3	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	55
	前年度(人)	6	6	6	6	6	5	5	4	4	4	5	3	60
													前年度比	▲5

提供回数	平成22年度(回)	18	18	19	23	25	29	30	30	23	27	26	21	289
	前年度(回)	34	37	37	38	32	28	29	21	18	20	24	17	335
													前年度比	▲46

かわね事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	前年度(人)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
													前年度比	0

提供回数	平成22年度(回)	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51
	前年度(回)	5	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	5	51
													前年度比	0

(2) 身体障害者施設入浴事業 (市委託事業) しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》
「身体障害者手帳」又は「療育手帳」の交付を受けた方であって、(1)自力又は家族の介助による入浴が困難な方、(2)医師が入浴を認めた方、(3)市内に住所を有するといった条件をすべて満たす場合に、北部デイサービスセンター内の特殊な浴槽を利用し、入浴サービスを行う事業です。
※ただし、介護保険法による保険給付を受けることができる場合は保険者の判断によります。

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
	前年度(人)	2	1	1	2	2	1	1	1	2	2	2	1	18
													前年度比	5
提供回数	平成22年度(回)	3	2	4	6	4	4	5	5	3	5	5	6	52
	前年度(回)	3	2	2	3	3	2	2	2	3	3	3	2	30
													前年度比	22

※平成22年度 かわね事業所では提供実績なし

(3) 生活管理指導員派遣事業（市委託事業）しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

介護保険の給付対象とならない、市内のおおむね65歳以上の方で、日常生活に関する支援・指導が必要な方（特定高齢者）の自宅に、生活管理指導員（ホームヘルパー等）が訪問し、日常生活や家事等に対する支援・援助を行う事業です。

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	17
	前年度(人)	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	25
													前年度比	▲8
提供回数	平成22年度(回)	8	4	5	4	4	5	4	4	6	7	6	5	62
	前年度(回)	8	6	6	9	6	8	6	6	7	6	7	8	83
													前年度比	▲21

※平成22年度かわね事業所では提供実績なし

(4) 介護保険対象外生活支援サービス事業（島田市社協独自サービス）しまだ事業所/かわね事業所

《事業内容》

介護保険法の訪問介護では認められていない、通院時における病院等での待ち時間付き添いについて、利用者からの要望や心身の状況を考慮し、介護保険対象訪問介護サービスと併用する場合に、通院介助等のサービスを独自サービスとして提供する事業です。

※30分未満 750円 30分以上1時間未満 1,500円 以後30分増すごとに500円

しまだ事業所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数	平成22年度(人)	3	3	5	4	3	2	4	1	3	2	1	1	32
	前年度(人)	8	5	8	8	6	5	6	7	6	8	6	5	78
													前年度比	▲46
提供回数	平成22年度(回)	4	4	7	5	4	2	5	2	4	2	3	1	43
	前年度(回)	16	12	16	27	15	7	19	12	20	19	11	5	179
													前年度比	▲136

※平成22年度かわね事業所では提供実績なし

16. 健康プラザ事業

島田市の指定管理を受けて管理、運営をしている施設で、島田市内に居住する65歳以上の方、高齢者の社会参加を支援する活動を行う団体や高齢者の団体が利用できます。

館内は、機能訓練室、作業室、浴室とあり、機能訓練室は生きがいデイサービスやげんき教室の会場となります。作業室は高齢者の趣味の会が利用しています。入浴は川根温泉の湯を利用しているため来所者に喜ばれています。22年度は活動の団体が限られていたため今後幅広く周知し、利用を促していく必要があります。

所在 島田市川根町家山1313-35

職員 管理職員 1名

利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	434	453	400	389	352	402	430	406	354	323	367	572	4,882
ボランティア等	29	5	7	6	7	10	11	9	10	10	27	8	139
1日平均	16.5	15.8	14.5	13.6	12.4	14.7	15.2	14.8	14.0	12.8	15.2	20.0	14.9
開所日数	28	29	28	29	29	28	29	28	26	26	26	29	335

17. 包括支援センター事業

地域の高齢者の心身の健康の維持、保険・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行う中核機関である地域包括支援センターの金谷中学校区及び川根中学校区を島田市より受託運営しました。

なお、金谷中学校区は、平成21年度まで市の直営事業だったため島田市地域包括支援センター金谷分室に社協職員を出向させていましたが、平成22年度から市からの受託事業に変更されました。

(1) 金谷中学校区地域包括支援センター（委託）

□所在 金谷北地域交流センター（島田市竹下470-2）

□職員 社会福祉主事（社会福祉士に準ずる者）1名、主任介護支援専門員1名、看護師1名

①相談状況

区 分		平成22年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	新規受付	31	23	27	24	18	17	21	27	23	13	21	25	270
2	継続対応	26	39	49	53	47	54	65	71	42	49	36	39	570
計		57	62	76	77	65	71	86	98	65	62	57	64	840

②介護支援専門員に対する個別支援

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
15	28	31	19	21	21	23	13	24	16	18	12	241

③特定高齢者対応

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
決定数	0	0	0	55	45	0	64	14	62	56	2	0	298
プラン作成数	0	0	0	0	14	12	2	2	0	15	3	1	49

④給付管理

区 分			平成22年度												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	委 託	新規	2	0	2	3	2	0	1	4	3	0	1	4	22
		継続	31	30	31	27	29	29	27	26	28	27	25	23	333
2	包 括	新規	2	1	2	3	1	2	1	3	4	4	1	8	32
		継続	47	45	47	47	49	46	43	42	38	40	43	41	528
計			82	76	82	80	81	77	72	75	73	71	70	76	915

平成21年度までは島田市直営の事業であったため、社協としての事業実績なし。

(2) 川根中学校区地域包括支援センター（委託）

□所在 島田市役所川根支所（島田市川根町家山4253-6）

□職員 社会福祉士1名、看護師1名

①相談状況

区 分		平成22年度												21年度	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	計
1	新規受付	35	11	8	20	21	19	8	17	7	18	12	16	192	190
2	継続対応	16	29	33	29	27	32	22	28	30	35	39	37	357	219
計		51	40	41	49	48	51	30	45	37	53	51	53	549	409

②介護支援専門員に対する個別支援

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	21年度
12	8	12	8	8	13	13	8	10	11	10	13	126	88

③特定高齢者対応

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	21年度
決定数	0	0	0	0	0	0	102	30	0	0	0	0	132	138
プラン作成数	3	3	3	2	3	3	11	8	6	7	8	2	59	50

④給付管理

区 分			平成22年度												21年度	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
1	委 託	新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		継続	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	包 括	新規	0	0	3	1	2	1	3	2	0	1	2	1	16	33
		継続	25	25	23	23	25	25	24	24	25	22	19	19	279	332
計			25	25	26	24	27	26	27	26	25	23	21	20	295	365

18. 駐車場管理運営事業

収益確保のため行政へ道路占用許可を申請し、月極め駐車場として管理運営しました。

(1) 駐車場所在地及び区画数

JR 島田駅西側高架道路下

- ① 島田市 4 6 4 2 - 8 (向島) 20 区画
- ② 島田市 4 6 4 9 - 2 (横井 2 丁目) 25 区画 (計 45 区画)

(2) 駐車場収入額及び契約台数

- ① 駐車場収入額 305,350 円
- ② 契約台数 12 台

19. 自動販売機設置事業 (収益事業)

収益確保のため市内公共施設へ自動販売機を設置しました。

(1) 設置個所

- ① 保健福祉センターはなみずき 1 台
- ② 金谷体育センター 1 台
- ③ 北部ふれあいセンター 1 台
- ④ 川根健康プラザ 1 台
- ⑤ 伊太老人福祉センター 2 台 (9 月末で廃止)

(2) 販売手数料 551,830 円